

# Murayama.Honda Dream.RT

## 2022年MFJ全日本ロードレース選手権

### ●第6戦 8/27(土)-28(日) スーパーバイクレース in 九州

#### 開催場所:オートポリス (大分県)



鈴鹿8耐が終わり、いよいよ全日本ロードレース選手権 JSB1000クラスも後半戦がスタート。舞台は第3戦と同じ大分県日田市にあるオートポリスインターナショナルレーシングコース。1周4674mのうちメインストレートは902mと短めで、テクニカルなコースレイアウトで知られているサーキットだ。

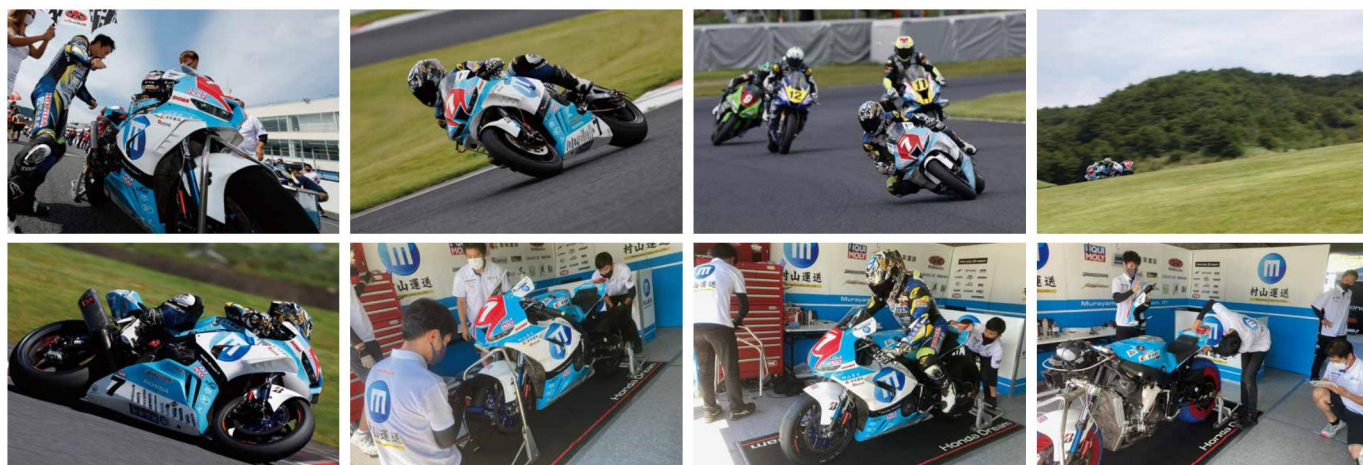
Murayama.Honda Dream.RTのCBR1000RR-Rは、第3戦では秋吉選手が茂木での怪我から参戦できず、今野由寛選手が代替ライティングしたが、SUGOから復帰した秋吉耕佑選手が参戦。秋吉選手は今季、オートポリスは初走行となるが、昨季9月に開催された同レースではレース1で8位、レース2で6位の結果を残し、ここオートポリスで後れをとり戻したい考えた。

予選は2回の赤旗中断がある荒れ模様でクリアラップをとることが難しかったが、秋吉選手は20台中10位の位置に付けた。そして迎えた決勝。秋吉選手は予選の鬱憤を晴らすかのごとく、オープニングラップで7番手に浮上。その後は混戦の中で順位が頻繁に入れ替わったが、後半にかけてラストスパートをかけていこうとしていた矢先、1台のマシンがメカニカルトラブルでコース上にオイルを撒いてしまい途中赤旗中断。今回は1レースのみで開催されるため全18周と長丁場の戦いが予定されていたが、周回数が12周に達していたためそのままレース終了となった。

秋吉選手はレース途中、ストレートスピードに勝るマシンに抜かれたものの、予選から1つ順位を上げた9位でチェッカーフラッグを受けた。マシンのセッティングを煮詰めていけばまだまだ速くなる可能性があり、残りの2戦に期待できる結果となった。

なお、今回のレースでもこれまでの全日本ロードレース選手権や鈴鹿8耐と同様に、ホンダドリームジャパンでは福岡西、博多の2名がメカニックサポートを実施。日ごろホンダドリームに勤務するメカニックがタイヤや燃料の管理、ピットストップ時のフォローなど、国内トップカテゴリーのロードレースで貴重な体験を得た。参戦したメカニックはこの経験をホンダドリームに持ち帰り、きっとユーザーサービスの向上に役立ててくれるはずだ。

今季残りの2戦は9月17～18日に岡山県の岡山国際サーキット、11月5日～6日に三重県の鈴鹿サーキットで開催が予定されている。



#### ■第6戦レース結果

秋吉耕佑選手

予選10位 決勝9位 7ポイント獲得

※オートポリス終了時(暫定)ポイントランキング17番手